

経営比較分析表（令和5年度決算）

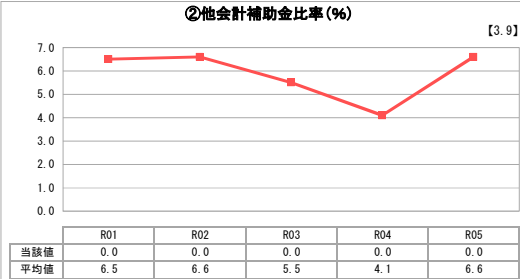
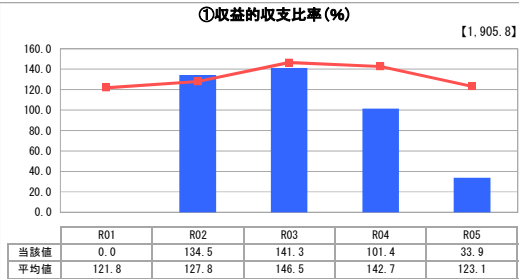
和歌山県和歌山市 本町地下駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	地下式	44	

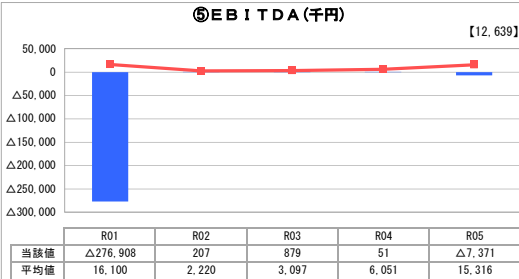
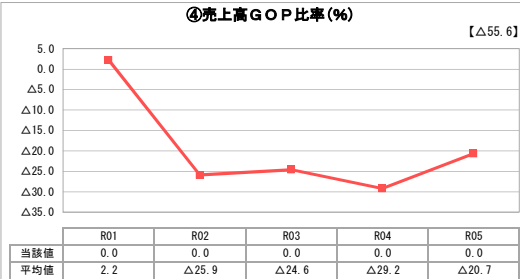
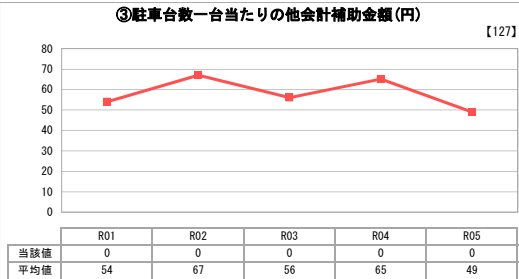
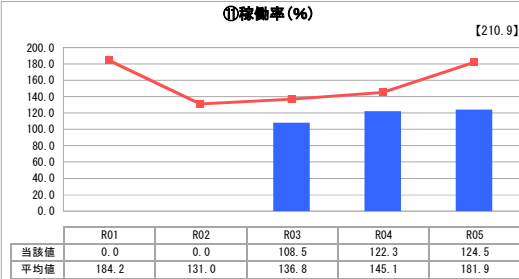
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(㎡)
公共施設	無	5,566
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
188	200	利用料金制

■ 当該施設値（当該値） — 類似施設平均値（平均値） 【】 令和5年度全国平均
--

1. 収益等の状況



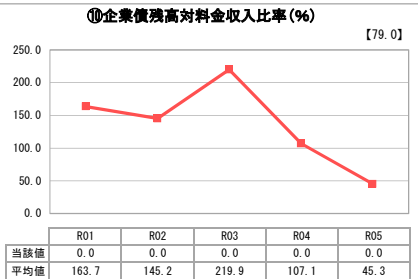
3. 利用の状況



2. 資産等の状況



⑦敷地の地価(千円)
0
⑧設備投資見込額(千円)
0



分析欄

1. 収益等の状況について
収益的収支比率については、令和4年度から地方債の償還が始まったため、前年度に比べて67.5ポイント減少している。

2. 資産等の状況について
当該事業は、地方公営企業法非適用事業であるため、有形固定資産減価償却率は算出されない。敷地の地価については、公園の地下にある施設のため、算出されない。新たな設備投資の予定はないが、将来を見据えた維持管理を行っていく。

3. 利用の状況について
令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたため、駐車場利用者が少なかったものの、令和4年度以降、徐々に行動制限が緩和されたことから稼働率の増加に繋がっている。

全体総括

当該駐車場は、平成23年度に休止したが、令和2年4月1日に指定管理者制度の利用料金制を導入して再開している。指定管理者は、地上部の公園施設と一体的な運営を行っており、イベント開催等を通じた地域の賑わい創出などに取り組むことで、駐車場利用の増加、収益の拡大に取り組んでいる。令和5年度から地方債償還金が増額したため、収支比率が低下している。

経営比較分析表（令和5年度決算）

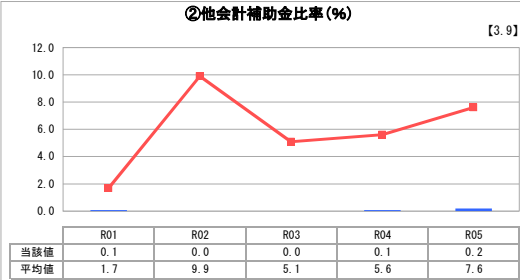
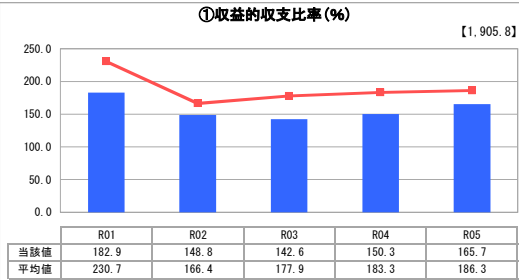
和歌山県和歌山市 中央駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 1 B 2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	42	

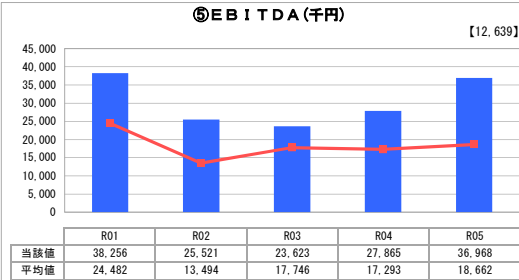
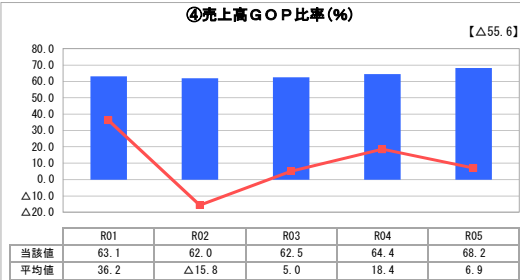
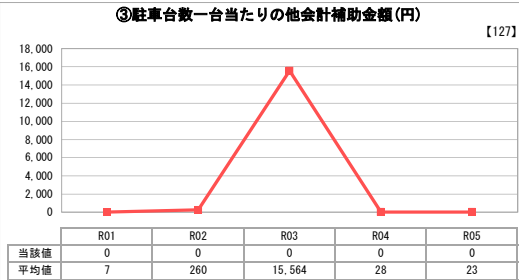
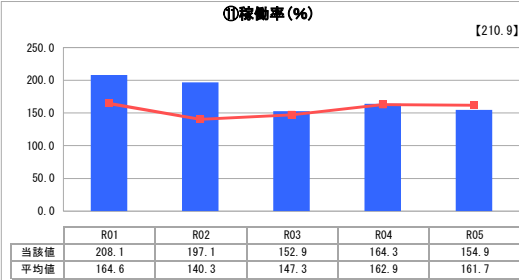
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(㎡)
公共施設	無	11,748
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
577	160	代行制

グラフ凡例
■ 当該施設値（当該値）
— 類似施設平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 収益等の状況



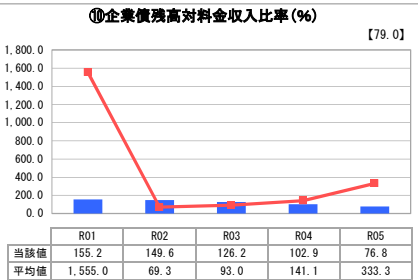
3. 利用の状況



2. 資産等の状況



⑦敷地の地価(千円)
191,674
⑧設備投資見込額(千円)
0



分析欄

1. 収益等の状況について
隣接地に新たな市営駐車場が供用開始されており、利用者の分散が見受けられる。収益的収支比率は、類似施設の平均値を下回っているものの、黒字収支であり、売上高GOP比率も高水準であることから、安定した経営状況を維持できている。

2. 資産等の状況について
当該事業は、地方公営企業法非適用事業であるため、有形固定資産減価償却率は算出されない。耐震改修工事等の起債借入により債務残高はあるものの、資産としては安定した状態にある。

3. 利用の状況について
当該駐車場は、市役所に隣接しており、来庁者や周辺施設のイベント参加者などで、高い稼働率を維持している。稼働率については、類似施設の平均値を下回っているものの、収益的収支比率は前年度と比較して上昇していることから、周辺施設などのイベント参加で長時間駐車する方が増えたことが影響しているものとする。

全体総括
収支は健全であり、近隣の公的施設やまちなかの賑わい創出事業によって、需要増が見込まれている。引き続きの経費節減や更なる利用増加に向けた検討を行い、安定した経営に向けた取り組みを進める。

経営比較分析表（令和5年度決算）

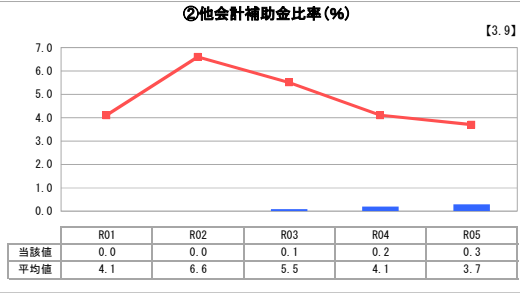
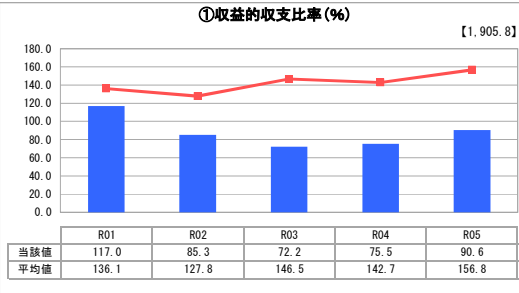
和歌山県和歌山市 城北公園地下駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	地下式	30	

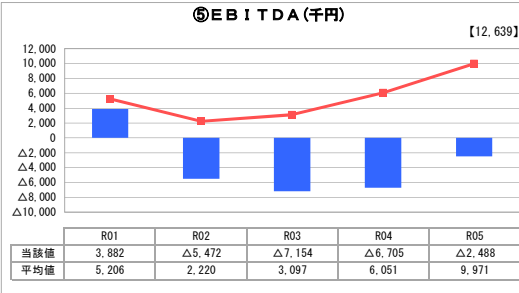
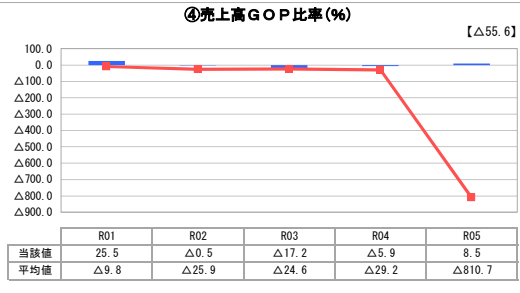
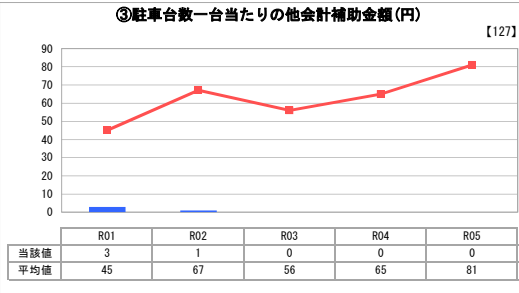
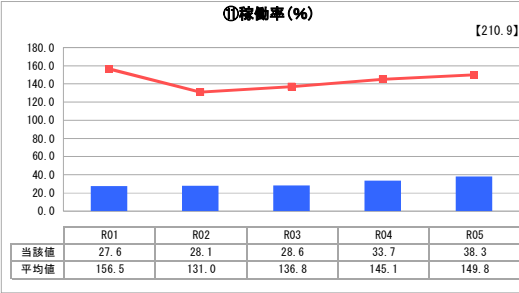
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(㎡)
公共施設	無	7,406
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
196	200	代行制

■ 当該施設値（当該値）
— 類似施設平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 収益等の状況



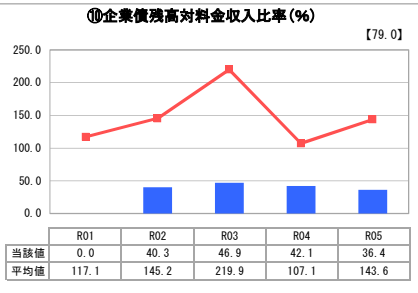
3. 利用の状況



2. 資産等の状況



⑦敷地の地価(千円)
0
⑧設備投資見込額(千円)
37,044



分析欄

1. 収益等の状況について
令和2年度に近隣に立地する本町地下駐車場が再開したことから、利用者が分散化し、収益が減少している。

2. 資産等の状況について
当該事業は、地方公営企業法非適用事業であるため、有形固定資産減価償却率は算出されない。
敷地の地価については、学校用地の地下にある施設のため、算出されない。
令和2年度エレベーターの更新及び令和3年度精算システムの更新により債務残高があるものの、引き続き健全な施設運営を図っていく。

3. 利用の状況について
稼働率は、依然として類似施設の平均値を大きく下回るものの、徐々にではあるが増加傾向にある。

全体総括
近隣の公的施設やまちなかの賑わい創出事業により、将来的に駐車場需要の増加が見込まれる施設ではあるが、収益的収支比率やEBITDAの水準が低い状況にあるため、引き続きの注視が必要である。
これらは、稼働率の低さが要因であるため、利用者の増加施策の検討や経費節減を引き続き行い、安定した経営に向けて取り組んでいく。
近年は、大学誘致による職員や周辺オフィスの社員により定期駐車の利用が増えており、徐々にではあるが収益は増加している。

経営比較分析表（令和5年度決算）

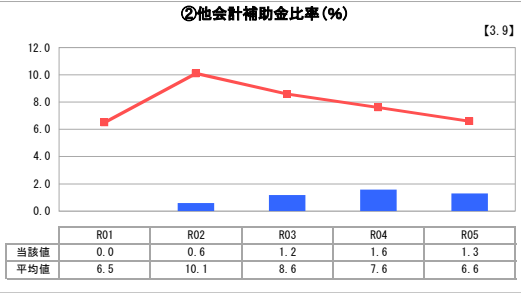
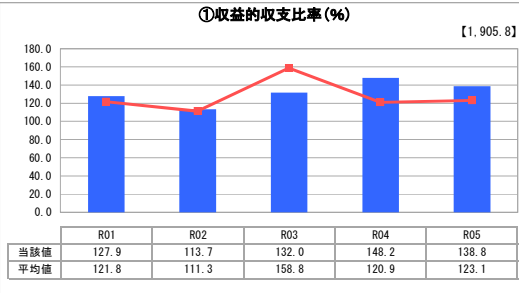
和歌山県和歌山市 けやき大通り地下駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	地下式	30	

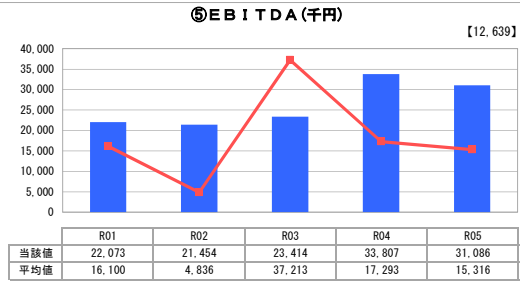
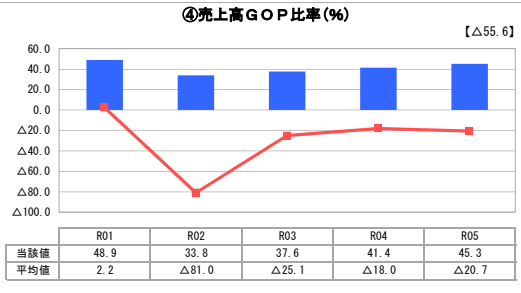
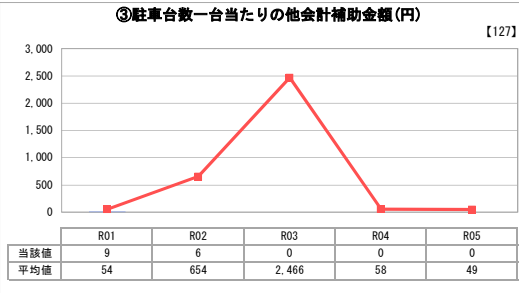
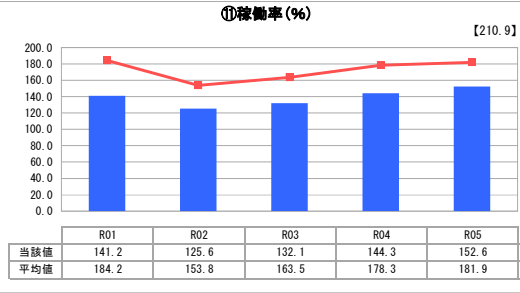
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(㎡)
駅	無	12,298
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
352	300	代行制

■ 当該施設値（当該値）
— 類似施設平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 収益等の状況



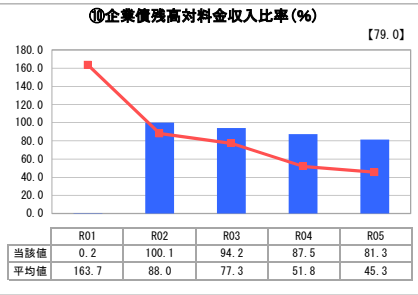
3. 利用の状況



2. 資産等の状況



⑦敷地の地価(千円)
0
⑧設備投資見込額(千円)
39,960



分析欄

1. 収益等の状況について
売上高GOPは類似施設の平均値よりも高い水準を維持しており、駐車場建設に係る起債については、平成27年度に償還を完了していることから、全体として収益的収支は高く安定し、会計としては健全である。

エレベーター改修工事と機械式撤去改修工事に係る起債の償還が、令和6年度から予定されているため、今後の経営状況に注意が必要である。

2. 資産等の状況について
当該事業は、地方公営企業法非適用事業であるため、有形固定資産減価償却率は算出されない。敷地の地価については、道路敷地の地下にある施設のため、算出されない。令和元年度エレベーターの改修及び令和2年度機械式駐車区画の撤去により債務残高があるものの、引き続き健全な施設運営を図っていく。

3. 利用の状況について
令和2年度に停止していた機械式駐車区画を整備したことから、収容台数が増加したため、新型コロナウイルス感染症の影響前より稼働率が増加している。当該駐車場は、駅前に立地しており、周辺の商業施設等のイベント開催時などを中心に高い稼働率を維持している。

全体総括
収支は健全であり、周辺商業施設の利用者やマンション住民の利用などで、高い稼働率を維持している。今後は、設備の計画的な改修を検討していく必要がある。

経営比較分析表（令和5年度決算）

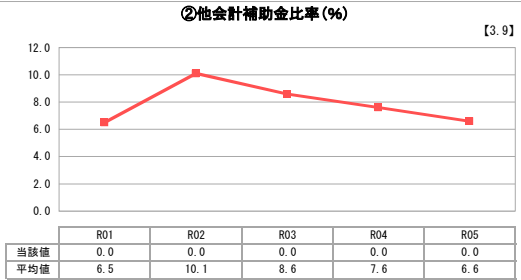
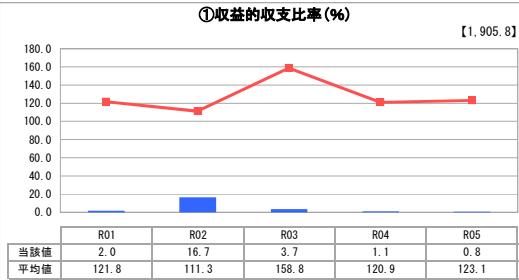
和歌山県和歌山市 大新地下駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	地下式	27	

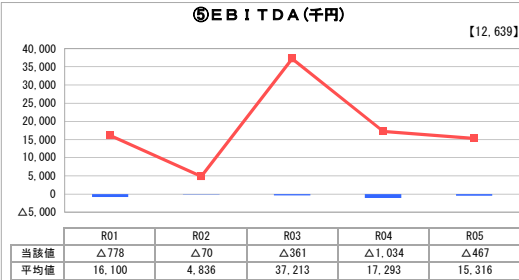
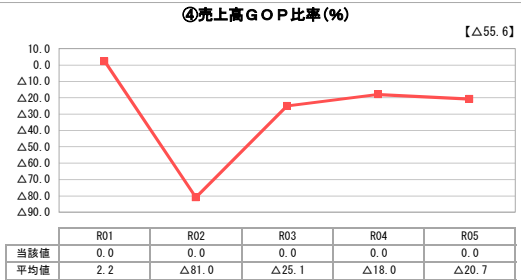
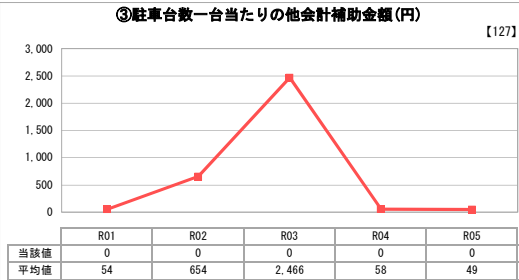
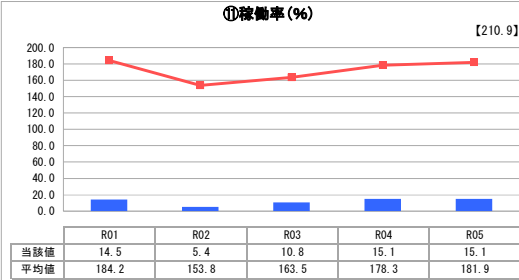
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(㎡)
商業施設	無	5,602
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
166	200	利用料金制

■ 当該施設値（当該値）
— 類似施設平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 収益等の状況



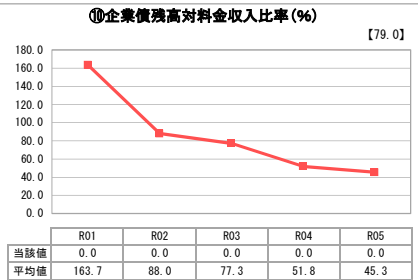
3. 利用の状況



2. 資産等の状況



⑦敷地の地価(千円)
0
⑧設備投資見込額(千円)
0



分析欄

1. 収益等の状況について
当該駐車場は、平成27年度から休止し、平成30年8月8日に営業を再開した施設である。再開後は、利用料金制指定管理者による運営のため、契約により収益が見込まれる令和7年度～9年度までの収支は少額に留まる。

2. 資産等の状況について
当該事業は、地方公営企業法非適用事業であるため、有形固定資産減価償却率は算出されない。敷地の地価については、公園の地下にある施設のため、算出されない。債務残高はないことから、引き続き必要な施設更新を検討していく。

3. 利用の状況について
平成27年度から休止し、平成30年8月8日に営業を再開したため、この期間の利用実績はない。再開後（平成30年度の稼働は8か月弱）の稼働率は低いものの、今後は、利用料金制指定管理者の計画的運営により、段階的に収益を増加させていく予定。新型コロナウイルス感染症拡大による影響で駐車場利用者が減少したが、徐々に回復しつつある。

全体総括
民間による設備投資と利用料金制による指定管理者制度のもと、平成30年8月から駐車場を再開し、地上にある大新公園を活用した一体的取り組みを行っている。稼働率を引き上げるため、引き続き料金改定や運営面での見直しを行う必要があり、地上部の公園施設との一体的な運営の検討を行う必要がある。

経営比較分析表（令和5年度決算）

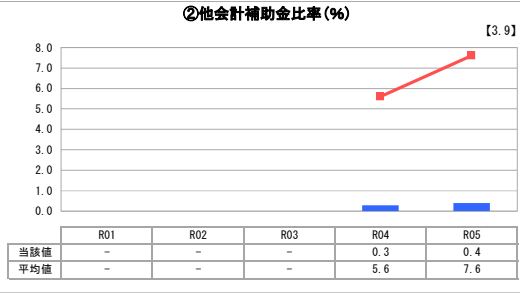
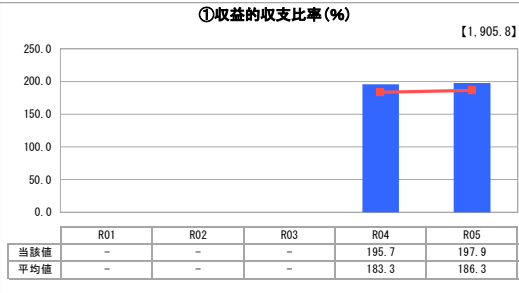
和歌山県和歌山市 北駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 1 B 2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	3	

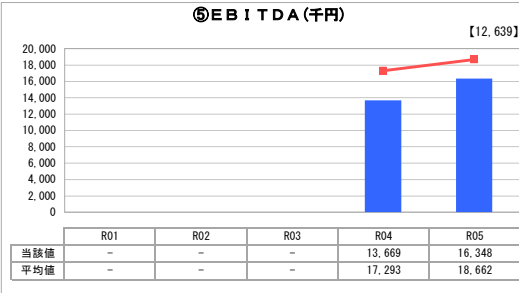
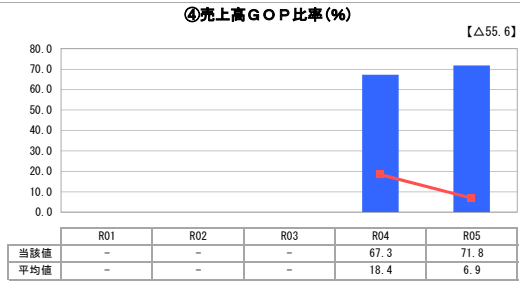
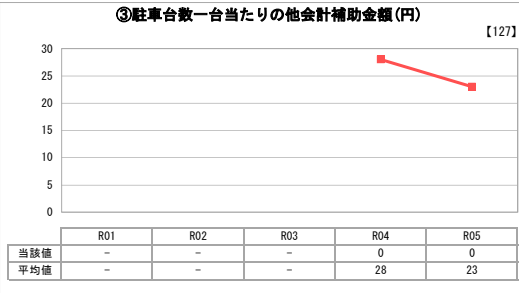
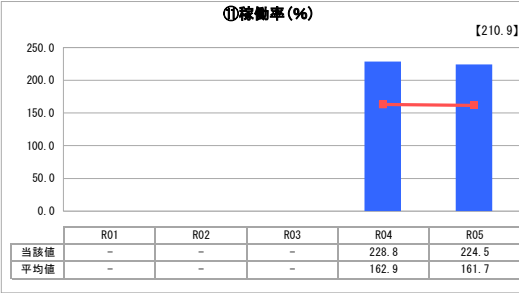
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(㎡)
公共施設	無	6,066
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
212	160	代行制

■ 当該施設値（当該値）
— 類似施設平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 収益等の状況



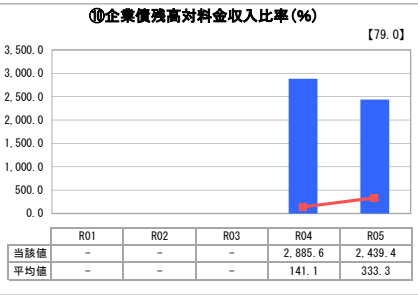
3. 利用の状況



2. 資産等の状況



⑦敷地の地価(千円)
177,394
⑧設備投資見込額(千円)
0



分析欄

1. 収益等の状況について
新たに建設された駐車場であることから、EBITDAは類似施設平均値より下回っているが、収益的収支比率は、類似施設の平均値を上回っており、売上高GOP比率も高い水準を維持している。

2. 資産等の状況について
当該事業は、地方公営企業法非適用事業であるため、有形固定資産減価償却率は算出されない。新築工事により債務残高はあるものの、資産としては安定した状態にあり、新たな設備投資の予定はないが、将来を見据えた維持管理を行っていく。

3. 利用の状況について
当該駐車場は、市役所に隣接しており、来庁者や周辺施設のイベント参加者などで、高い稼働率を維持していることから、類似施設の平均値を上回るなど安定した需要が見込まれている。

全体総括
収支は健全であり、近隣の公的施設やまちなかの賑わい創出事業によって、需要増が見込まれている。令和6年度から建設に要した償還金が増加することから、引き続きの経費節減や更なる利用増加に向けた検討を行い、安定した経営に向けた取り組みを進める。